



FM規格とは？ 外資系企業が知っておくべき防火安全基準を徹底解説

FM PRODUCTS, INC.
エー・エム・プロダクツ株式会社

目次

FM規格とはP.2

FM Approvals社とはP.3

FM規格の認証プロセスP.4

FMキャビネットの要件例P.5

日本国内でFM規格品を使うメリットP.6

FM規格は安心と信頼の証P.7

〈WEBサイト〉製品ページのご案内P.8



FM規格とは

消防機器の品質を証明する米国の規格です。

米国では工場や建物で働く人たちが安全に仕事ができるようにするための法律である労働安全衛生法(OSHA)がありますが、消防用機器の仕様については詳細な基準は規定していません。

代わりに、認定試験機関である民間企業FM Approvals社が規定するFM規格(Factory Mutual Standards)を参照することになっています。

〈OSHA〉

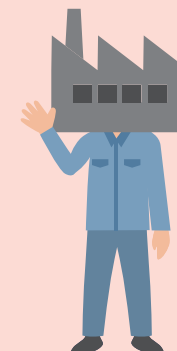
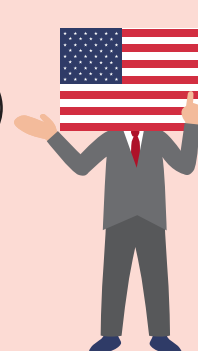
米国「労働安全衛生局」の法律と規則

アメリカ政府の「労働安全衛生局」が定めた、働く人がケガや事故にあわないようにするルール(法律と規則)



労働に関する大きなルール

労働者が
安全に働けるルールを
作ったから守ってね！



了解！
ありがとう！

〈FM規格〉

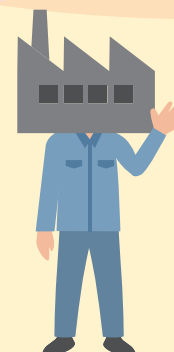
民間認定試験機関の規格

FM Approvalsが作った、工場や施設を火事や事故から守るための消防用機器の「安全基準」



消防用機器に関する安全基準

消防・防火機器は
どうしたらいいの？



消防・防火機器は
FM Approvals 社の
基準に従ってね！

FM Approvals社とは

米国政府から認定を受けた民間の試験機関です

全米認証試験機関(NRTL)に登録されており、1世紀以上にわたり第三者試験・認証サービス機関として、主に商業施設や工業施設で使用される消防機器・サービスに対して厳格なテストを実施しています。

高い基準を満たした製品にはFMマークが付与されます。米国内では大企業の多くがFM規格適合品を採用しています。

※FM Approvals社は損害保険会社FM Global社のグループ会社です。

主な全米認証試験機関(NRTL)

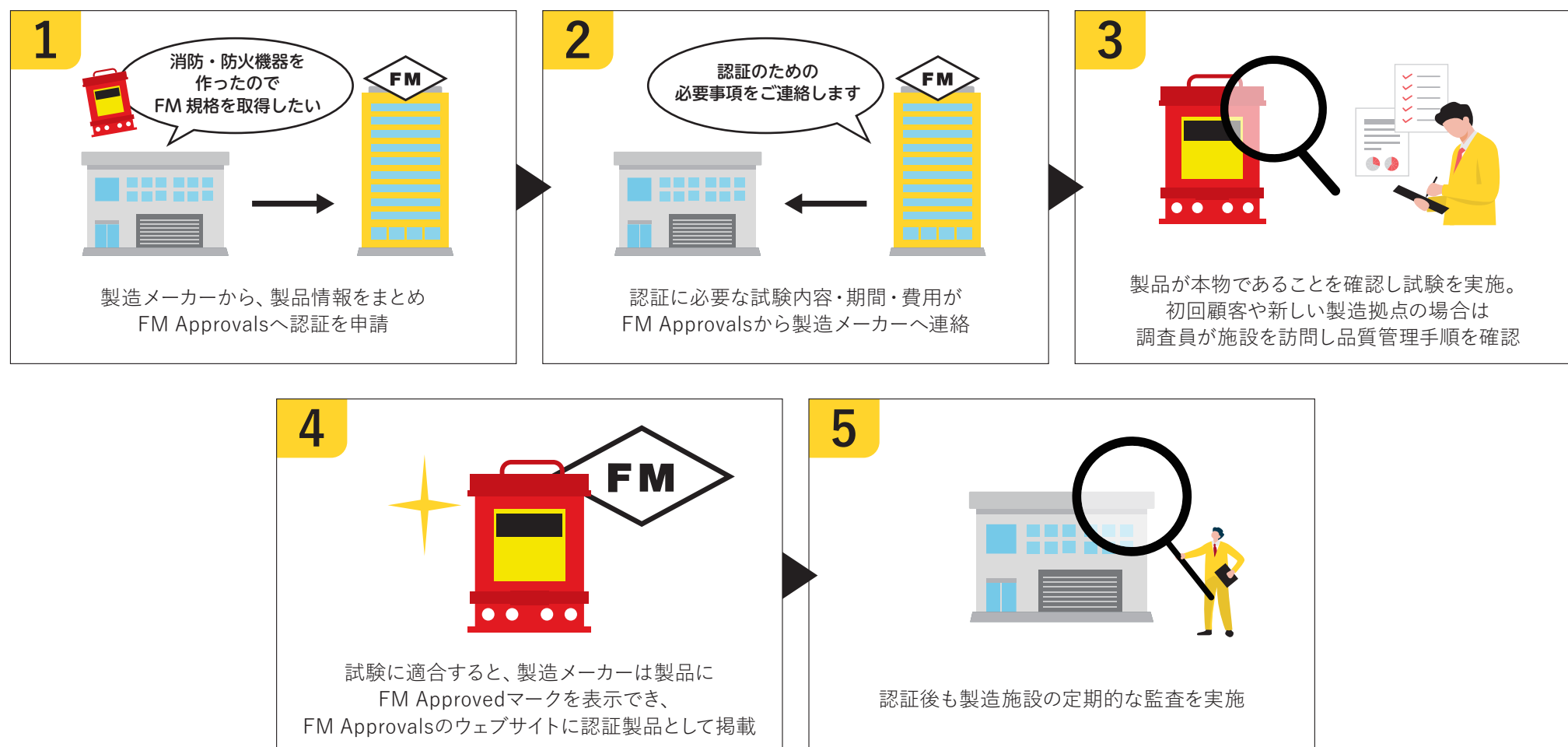
FM Approvals	UL (Underwriters Laboratories)	Intertek	CSA Group	TÜV Rheinland
防火機器、防爆機器	電子・電気機器	電子・電気機器、 玩具、医療機器	配電盤、医療機器、 ガス機器	医療機器、自動車部品、 ICT製品
工場や商業施設向けに、安全性・耐火性・信頼性に関する製品試験と認証を行っています。	米国の安全科学機関で、製品の安全性試験と規格開発を行い、広く国際的に認知されています。	英国発祥の試験認証機関で、多分野で製品の品質・安全・性能試験を実施しています。	カナダの規格開発・認証機関で、主に北米市場向けの安全基準に基づく認証を行っています。	ドイツに拠点を置く第三者認証機関で、技術・安全・品質の試験・評価をグローバルに展開しています。
				

FM規格の認証プロセス

FM Approvalsでは最先端の設備や試験施設を用いて、消防機器に合わせた極めて厳格な試験を実施しています。

取得まで数ヶ月～1年程度かかることが一般的で、コストも高額です。

適合製品に付与されるFMマークは、品質、技術、性能で優れた基準を満たしていることの証明です。



FMキャビネットの要件例

FM規格に適合する耐火キャビネットは、構造・性能共に様々な要件を満たしたものでなければなりません。



JUSTRITE
〈FM規格〉セーフティキャビネット



熱を遮断する
2重の壁面構造



底部の液体サンプ



アース接続

FM

APPROVED

キャビネットの構造要件例

- 厚み18ゲージ(約1mm)のスチール板で造られており、また2重構造であること。
- 側面、上壁、扉において、内側と外側の2枚のスチール板の間に1.5インチ(約38mm)以上の空間を設けること。
- 扉の施錠が可能で、火花が散らないこと。
- 扉の3か所にラッチがあり、しっかり閉まる仕組みであること。
- 庫内で漏れた液体を一時的にためることができる、深さ2インチ(約51mm)のサンプ機能があること。
- 外側からアースを取れる構造であること。

FM

APPROVED

キャビネットの性能要件例

- 最大保管容量まで積載し、72時間状態を維持しなければならない。
- 10分間の耐火試験を実施し、試験中はキャビネット内部の空気温度は325°F(163°C)を超えてはならない。またすべての接合部、継ぎ目、扉は試験中および試験後も安全に保持されていなければならない。
- 最低100回の扉開閉試験を行い、閉じない、またはラッチがかからない不具合があってはならない。
- サンプに2インチまで液体を満たして24時間維持し、漏れがあってはならない。

日本国内でFM規格品を使うメリット

世界的に認められたFM規格品を使用することは、日本国内においても大きなメリットがあります。



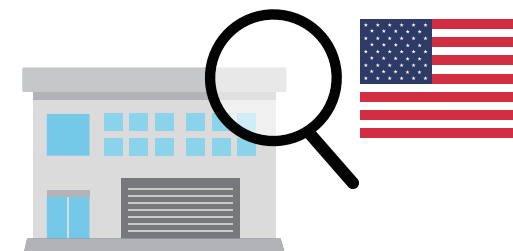
火災や災害リスクを低減

厳格な試験に合格したFM規格品を使用することは、火災や災害リスクを低減し、財産や従業員の安全、企業イメージを守ることができます。



海外企業との取引円滑化

FM規格品は米国だけでなく国際的に受け入れられている防火規格です。使用していることで防災意識の高さを証明することができます。



本国からの監査に対応

外資系企業の日本国内製造拠点では、本国側でFM規格品を使用している場合、監査の際にFM規格品を使うよう指摘が入ることがあります。



POINT

HPR(Highly Protected Risk)基準

損害保険会社FM Global社が独自に設定しているより高度な防火基準で、日系進出企業や米国の大企業の多くが採用しています。要件を満たすことで保険料率が軽減されます。要件にはFM規格品の使用が含まれます。

FM規格は安心と信頼の証

- FM規格は米国が認める防火製品の品質基準です。
- FMマークは民間機関FM Approvals社が規定する厳しい試験に合格した製品に付与されます。
- 規格に適合した後も、定期的に製造設備の監査が実施されます。
- FM規格品を使用することで火災のリスクを軽減することができるほか、防火意識の高さを国際的に示すことができます。



詳細情報が豊富な 〈WEBサイト〉製品ページのご案内

弊社の〈WEBサイト〉製品ページには、**セーフティキャビネットをはじめとした〈FM規格〉製品の情報を豊富に掲載しております。製品のサイズや重量などはもちろん、動画でも製品を確認**することもできます。

ぜひ、〈WEBサイト〉製品ページをご活用ください。



〈火災予防製品〉
検索ページ QRコード

〈火災予防製品〉検索ページ

お問い合わせフォーム



詳細情報が満載の
〈WEBサイト〉製品ページを
ぜひご活用ください！



AM PRODUCTS, INC.

エー・エム・プロダクツ株式会社

会社概要

- 社 名 エー・エム・プロダクツ株式会社
- 所在地 〒154-0011
東京都世田谷区上馬2丁目14-1
横溝ビル8階
- 拠 点 札幌・仙台・名古屋・大阪・広島・福岡
- 創 業 1987年8月20日
- 代表者 代表取締役 八尾雄一
- 資本金 2,000万円
- 事業内容 油・液体吸収材の輸入及びその販売
液体危険物吸収材の輸入及びその販売
環境管理機器の輸入及びその販売
保管容器の輸入及びその販売
安全保護具の輸入及びその販売
フロアマットの輸入及びその販売
その他上記に関する一切の業務

お問い合わせ TEL:03-5481-9001

エーエムプロダクツ株式会社 (ampro.co.jp)

